

# いぎいぎ

春は「姿勢まっすぐ」でスタート!

ネコは可愛いです。まあい背中も含め、可愛いです。ところが人間の猫背は、見かけが悪いだけでなく、体にもよくないそうです。そこで。春はネコが恋する季節、人間は、猫背とお別れする季節といたしましょう。特集が、味方いたします。

GOMI TARO





黒柳さんの今度の舞台は、  
10秒に1回大笑いできます！

黒柳徹子主演海外コメディシリーズ  
第29弾

「ルーマーズ」  
～口から耳へ、耳から口へ～

ニューヨーク郊外に建つ市長代理の豪邸へ結婚記念日のパーティーに呼ばれた4組のセレブカップル。最初にやってきたクリス（黒柳徹子）とケン（団時朗）の夫婦は、この家の主人が耳から血を流して倒れているのを見。このスキャンダルを隠すため、その場しのぎの作り話でごまかそうとするが、嘘が嘘を呼び、大騒ぎに……。

作／ニール・サイモン  
演出／高橋昌也  
出演／黒柳徹子、団時朗、かとうかず子 ほか

<東京公演>  
日程／5月16日（土）～31日（日）  
会場／EXシアター六本木  
入場料金／1階席 9800円 2階席 8500円（全席指定）  
前売り券発売中  
<大阪公演>  
日程／6月4日（木）～7日（日）  
会場／梅田芸術劇場シアター・ドラマシティ  
入場料金／9500円（全席指定）  
前売り券発売中  
お問い合わせ先／パルコ ☎03-3477-5858  
<http://www.parco-play.com/>

1990「ルーマーズ」  
大富豪の女性の象徴、金髪・  
ボブスタイルを表現しました。



撮影：谷古宇正彦 写真は2006年再演時のもの  
初演では水島さんがヘアスタイリングを担当。

から。今度の「ルーマーズ」の再演でも、このカツラを使うわ。物もちがいいでしょう。水島 そう言っていただけで、とてもうれいしです。徹子さんの舞台は、仕事で関わっていなくても、すべて観ていませ。すごくしゃれていて、上質で。大好きです。徹子さんしか演じられないと思います。黒柳 私自身も喜劇が好き。初めて舞台に立ったとき、「なんて心地いいんだろう」と思ってたんです。テレビと違って、舞台は瞬時に、みなさんが今の演技を楽しんでいるかそうでないかがわかるじゃない。特に喜劇は、もしみなさんの笑いが少ないと思ったら、徐々に

1989「ニノチカ」  
かたぶつ検察官が、パリジェンヌへ大変身！  
当時、パリで最先端のヘアスタイルを取り入れました。



水島さんがヘアスタイリングを担当。

舞台のたった2時間半の  
あいだだけでも、笑って、  
いやなことば忘れてもらいたいの

れるという役でしたから、第1幕と第2幕での変身ぶりがとても大事だった。それを水島さんは、ヘアでうまく表現してくださったのよね。第2幕が始まったとき、お客さんが「わー！」って驚いてくれて、とってもうれしかったの。水島 シフォンの真っ赤なドレス姿、とてもすてきでした。黒柳 私たち、みんなで汽車に乗って日本全国を巡って、トイレに座ったまま顔も洗えるくらいの、小さなホテルに泊まったわね笑。ひとつ割に合わないなあと思っていたのは、「徹子の部屋」のために、私だけ東京に戻らないといけなかったことね。みなさんは、温泉に行っていたりしたのに

……笑。月・火は東京、水は日地方、という生活は大変でしたけど、地方のお客さんに、上質な海外の喜劇を観ていただくことは楽しかったし、励みになっていたの。水島 「ルーマーズ」(90年)の初演で一緒に来たことも、思い出深いです。黒柳 須賀さんが亡くなる直前で、私が「ニューヨークのお金持ちみたいに見せたい」と言ったら、わざわざ金髪のカツラを送ってくれて、水島さんがカットしてくれたわね。とてもすてきなヘアだったわ。舞台においてヘアはとっても大切だと思うの。頭ひとつでその人がどんな人物か、すぐにお客さんに伝わります



くろやなぎ・てつこ  
東京都生まれ。東京音楽大学音楽科卒業後、NHK放送劇団に入団。NHK専属のテレビ女優として活躍し、フリーに。84年ユニセフ親善大使に就任。89年からは海外コメディシリーズの舞台を続ける。「徹子の部屋」は、2015年に40周年に突入。

に演技を変えて笑いを増やしていくこともできるでしょう。それに世の中、憂うつなことがいっぱいあるから、舞台の2時間半だけでも笑っていたらいい、いやなことは忘れてもらいたい。今度の「ルーマーズ」は、1回の公演で700回笑えるんです。数えたのよ。劇場の壁に、みなさんの笑いの響きを染み付かせたいと思ってるの！

人のために、  
何か「ちよつと」だけ

水島 徹子さんご自身は、いやなことを、どのように忘れようとされているのですか。黒柳 そうねえ……。仕事を始めてからは、何でもぐちぐち考えないように心がけているの。母に言わせると、私は子どもの頃から「反省しない、すぐ忘れる」性格だったみたいですよ(笑)。でも、なるべく前向きにいきたくてすよね。若い頃に読んだフランスの詩で、「人間、生まれてきたのは、人のために「ちよつと」何かすること」っていう言葉があったんです。私にとっては、「ちよつと」でも人に笑っていたりすることが、それにあたると思うの。だから舞台は、100歳までやっていきたいと思ってるんです。水島 すごい！ またぜひヘアを担当させてください！



みずしま・ゆうさく  
ファッションマガジン、広告、コレクション、ステージなどを中心に活動。黒柳徹子さんをはじめスーザン・ロックフェラー氏など、世界の要人・セレブリティに支持される。2013年、「MIZUSHIMA OFFICE」を設立。「いきいき」の昨年6月号と10月号では、華麗なメイク技で読者を変身させた。